

(四国少年院)

【作品】

思い出す 青空見れば 友の顔 虫の音色も 記憶重なる

【講評】

映像のような作品として、印象に残った。記憶の中の青空には、友人の顔と虫の音色が重なる。よく晴れた秋の日に遊んだ思い出だろうか。一人で過ごしているときまざまな記憶がよみがえり、それらが次から次へとつながっていくものだ。色彩と映像、音が効果的によみこまれている点に感心した。

【講評者名】

井上佳香